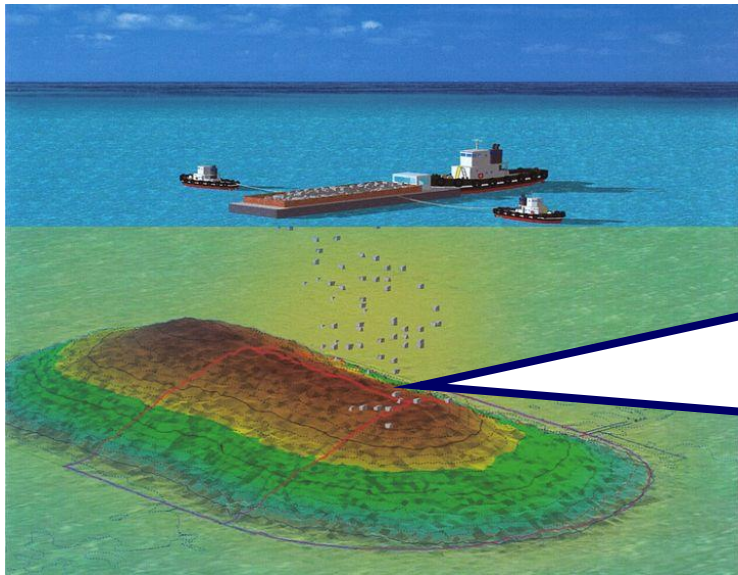


海洋土木工事 × みちびき



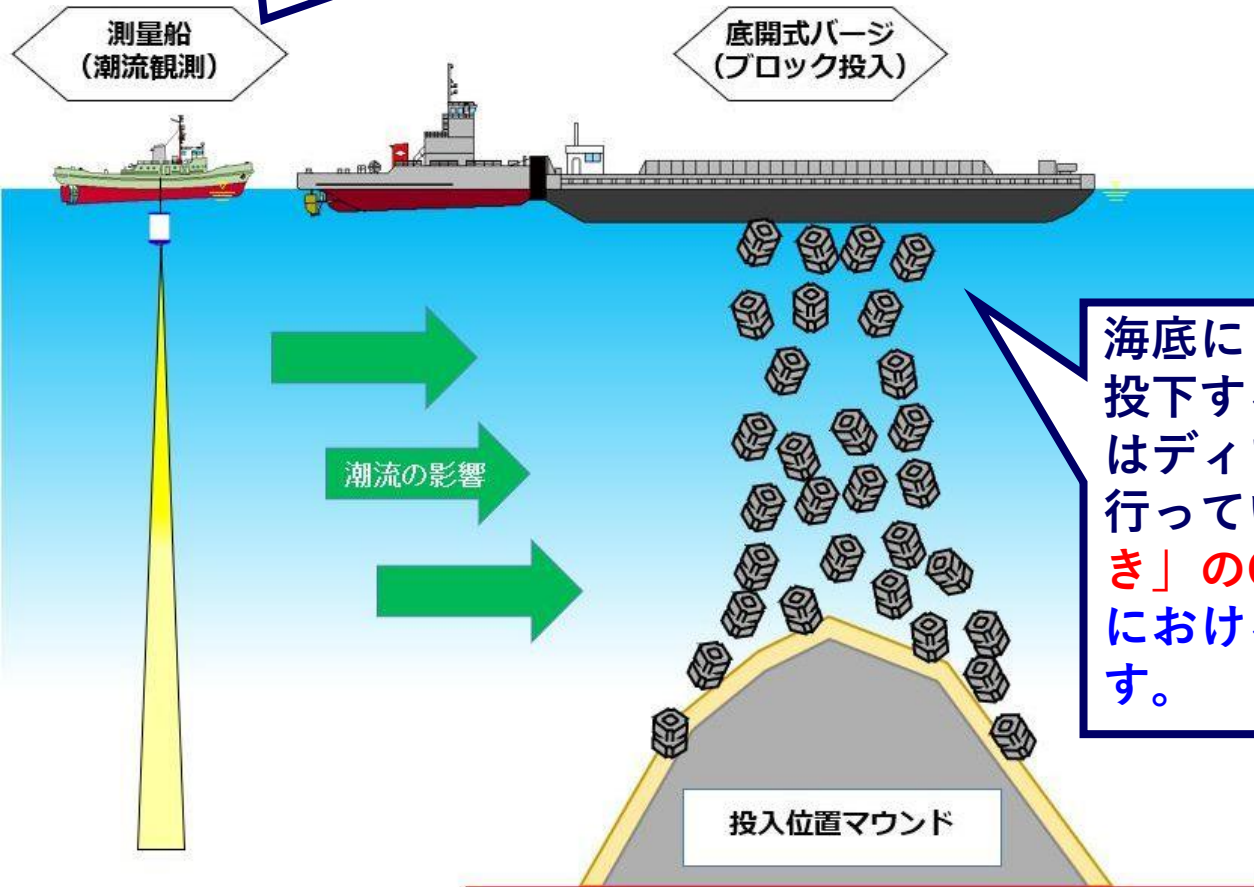
- 海洋関連の建設・土木事業を多く手がける東洋建設株式会社はマウンド礁と呼ばれる海洋での人工魚礁の築造に「みちびき」のセンチメートル級測位補強サービス（CLAS）を活用する「漁場築造システム-QZSS」を発表。

◆マウンド礁とは？



- 海底に石材やコンクリートブロックを山積みして築造する大規模な人工の山脈。
- 湧昇流（深層から表層への上向きの流れ）を発生させることでプランクトンが増殖するため、漁獲量の向上が期待できる。

マウンド礁の築造過程では、コンクリートブロックの投入後、マルチビームソナーを搭載した測量船を使って施工結果を検証。



海底にコンクリートブロックを投下する際の船の測位は、従来はディファレンシャル方式で行っていたが、これを「みちびき」のCLASに置き換え、沖合における施工の高精度化を目指す。